

## 基本目標 4

## 多様な機能と交流が生み出す魅力あふれるまちへ

### 4-1

### 魅力あふれる観光・リゾートを振興する

#### 1 観光・リゾート

##### 現状と課題

アーバンリゾートゾーンは、テーマパークやホテル、大型商業施設などが集積しており、国内だけでなく、海外からも多くの来訪者を集める本市の観光・リゾートにとって重要なゾーンとなっています。

このような中、本市が今後もより魅力あるまちとして発展していくためには、市民が誇れるリゾートゾーンとして、周辺住宅地の環境と調和を図りながら、このエリアの持つ魅力をさらに高めていく必要があります。

さらに、アーバンリゾートゾーンを中心に新浦安駅周辺を含めてホテルやホールなど集積する機能を活かし、引き続き国内外からの来訪者を呼び込めるMICE\*の誘致などに取り組んでいく必要があります。

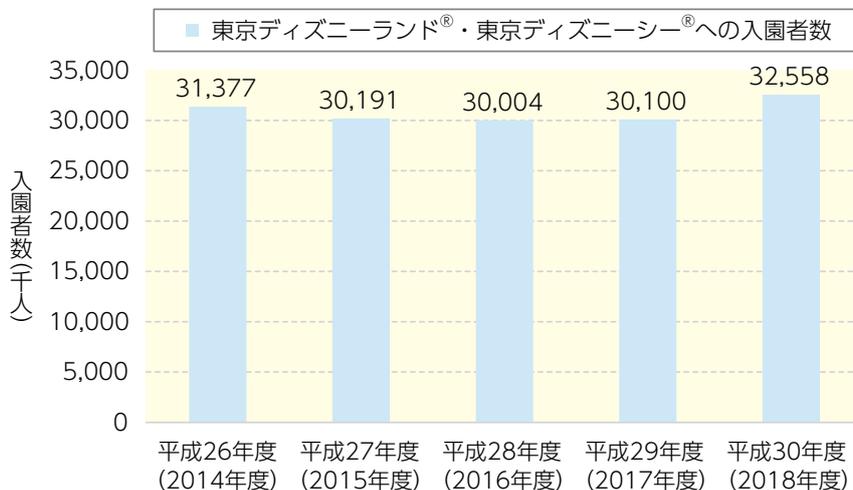
本市は三方を河川と海に囲まれ、釣り船や屋形船などの遊漁船や、海苔や貝類をはじめとする名産品などについては、特色ある地域資源でありながら観光資源として着目されることが少なく、本市の地域資源を活用した観光の振興が課題となっています。

一方、体験型観光の需要が高まる中、既存の観光資源をさらに磨き上げ、観光客の誘客と消費の拡大に向け、関係機関や民間事業者、市内大学や市民活動団体などとの連携・協力のもと、地域資源を活かした観光を推進する必要があります。

これまで、新浦安駅前への観光案内所の設置や市内3駅での公衆無線LANによる無料インターネットアクセス環境の構築、日本語と英語を併記したガイドブックの作成など国内外からの観光客が適切な観光情報を得ることができるよう来訪者の受け入れ体制の充実を図ってきました。

今後も本市の魅力国内外に効果的に発信できるよう情報発信を充実させるとともに、ICT\*の進展やグローバル化などに伴う多様化する来訪者のニーズに柔軟に対応しながら利便性を高める取り組みを進めることが求められています。

◆東京ディズニーランド®・東京ディズニーシー®への入園者数の推移



資料：(株)オリエンタルランド

基本目標 4 多様な機能と交流が生み出す魅力あふれるまちへ

◆宿泊客数の推移



資料：千葉県商工労働部「千葉県観光入込調査報告書」



アーバンリゾートゾーンのホテル群

未来の浦安の暮らし  
20XX年

序論

基本構想

基本計画

基本目標 1

基本目標 2

基本目標 3

基本目標 4

資料

## 施策の展開内容

**(1) アーバンリゾートゾーンの振興とMICEなどの誘致**

世界に誇れるアーバンリゾートゾーンの更なる振興を図るため、地域住民の生活空間と調和を図りながら、観光レジャー施設などを中心に魅力あるゾーンの形成を関係機関と連携を図りながら促進します。

ちば国際コンベンションビューローや日本政府観光局などの関係機関との連携・協力により、国際会議観光都市として国内外へ広く宣伝活動を実施し、国際会議などMICE\*の誘致を推進します。また、東京湾岸地域で開催されるMICE\*などのアフターコンベンションとしての魅力を発信していきます。

本市の水際線\*やシンボルロード、アーバンリゾートゾーンなどの公共空間を活用して、自転車ロードレースの「浦安クリテリウム\*」などの開催に向け取り組みます。

eスポーツ\*を通して、子どもたちがICT\*への興味・関心を持つきっかけとなることや新たな文化づくりの一翼となるよう「eスポーツ\*大会」の開催を支援します。

**(2) 地域資源を活用した観光振興の推進**

釣り船や屋形船などの地域資源を活かした観光振興に取り組むとともに、海や川との関わりの中で発展してきたまちの歴史を活かし、水と親しむことのできる魅力的な空間づくりや観光スタイルの発掘を推進します。

本市の観光資源や魅力を国内外に向けて効果的・効率的にアピールするため、的確な情報提供の充実を図るとともに、舞浜駅北口の開発にあわせて来訪者に千葉県や本市の魅力を発信する新たな場の整備に取り組みます。

訪日外国人観光客を含めたすべての来訪者の利便性の向上を図るため、公共サインの整備や多言語対応の支援をはじめとした環境整備に取り組みます。

関係機関や民間事業者、市内大学、市民活動団体などと連携・協力しながら、来訪者の受け入れ体制の充実や魅力的な観光施策に取り組みます。

## 4-2

## 新しい時代に対応した地域産業を振興する

## 1 地域産業

## 現状と課題

商業・サービス業は、市内の総事業所数の大部分を占めていますが、商業については、ネットショッピングの利用の増加や、コンビニエンスストアなど身近に多品種を取り扱う業態が普及する一方、商店会とその会員数は減少傾向にあり、地域密着型の小売業の衰退や活力の低下が見られるため、地域の実情に応じた地域産業を振興することが課題となっています。また、医療や福祉、教育関係など日常生活に密着した公共性の高いサービス業の振興も重要となっています。

工業については、国内最大の機能を誇る鉄鋼の流通・加工基地である浦安鉄鋼団地が工業ゾーンに立地しています。本市の工業の一大拠点である浦安鉄鋼団地は、ピーク時に比べて鋼材の入荷量・出荷量が減少しているものの、地域経済や雇用の主要な受け皿です。

これまで、工業ゾーンでは特別用途地区<sup>\*</sup>や地区計画を定めて、流通・加工・業務の操業環境を維持してきました。今後も引き続き集積する機能を充実・振興するため、周辺環境との調和を図りながら、操業環境の維持を図る必要があります。あわせて、今後も時代潮流や社会経済情勢の変化にも対応しながら、長期的な視点に立って機能の更新を促進していく必要があります。

また、本市の地域産業を支える商工業・サービス業者に対して、これまで中小企業資金融資制度や利子補給を通じた資金調達や、商店会などが実施する各種イベントなどへの支援を行うなど地域産業の振興に取り組んできました。

しかしながら、小規模な事業所や個人事業者が多く、資金面だけでなく、人手不足や後継者の育成などの課題が多いことから、引き続き時代潮流を的確に捉えながら市内企業の経営安定を図る総合的な対策を進める必要があります。あわせて、新たな産業の育成や起業の支援に取り組むことも求められています。

一方、生産年齢人口が減少し労働力の低下が見込まれる中、地域経済の活性化を図るためには、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、就労意欲のある多様な人材の活躍が求められています。

個々の事情に応じて多様で柔軟な働き方が選択できるように就労意欲のある市民が就業のために必要な知識、技術を習得できるように支援するとともに、市民が就労しやすい環境の整備を促進する必要があります。



鉄鋼団地

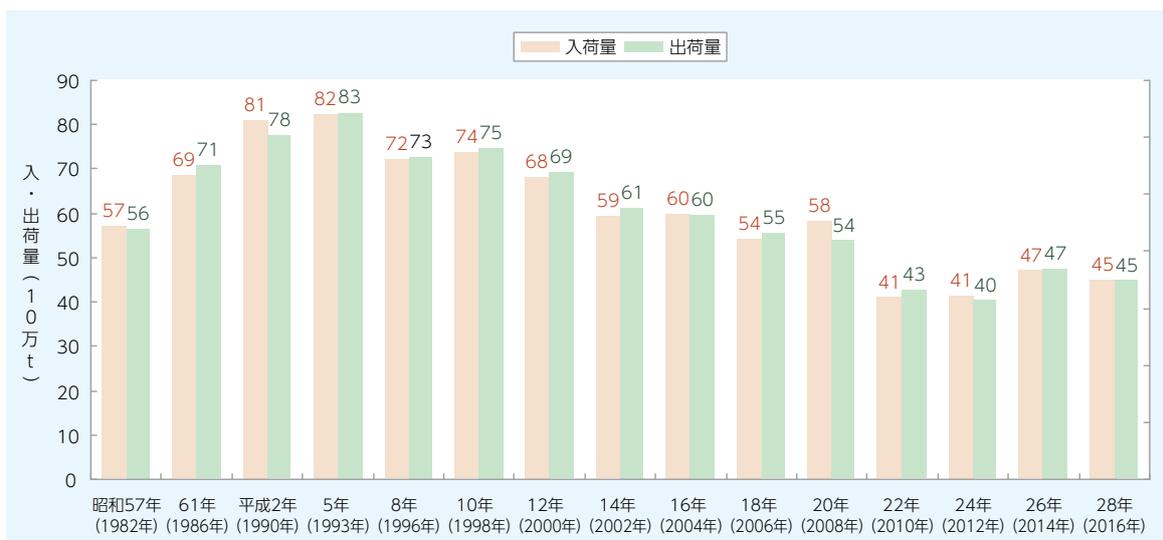
基本目標 4 多様な機能と交流が生み出す魅力あふれるまちへ

◆商店街数・会員数の推移



資料：千葉県商店街実態調査

◆浦安鉄鋼団地における鋼材の入・出荷量等の推移



資料：浦安鉄鋼団地協同組合実態調査推計値

## 施策の展開内容

**(1) 時代に対応した地域産業の振興**

地域産業の競争力を強化するため、地域資源の活用や小規模店舗などの魅力と競争力の向上の支援に努めるとともに、商業環境が変化する中、身近な商店会のあり方について検討し、地域の実情に応じた魅力ある商業空間の充実を支援します。

また、高齢者や子育て世帯をはじめとする買い物弱者への支援など地域のまちづくりと連携しながら地域商業の振興を促進します。

工業ゾーンについては、周辺の住環境に配慮しながら、特別用途地区\*に指定した区域を中心に現在の操業環境の維持を図るとともに、時代潮流や社会経済情勢に対応しながら機能の更新などを促進します。

また、業種・分野を超えた企業間や産官学の連携・交流を促進するとともに、成長分野や新領域への取り組みを支援します。

**(2) 産業を支える人材の育成・確保**

個々の事情に応じて多様で柔軟な働き方の実現に向けて積極的に取り組む事業者への支援や、高齢者や障がいのある方、がんなど病気を抱える方など誰もが働きやすい職場づくりなどを推進します。

また、就労希望者に就労環境を提供するため関係機関と連携・協力しながら、求職者の状況に応じたきめ細やかな就労支援を推進します。

地域産業の持続的な発展に向け、市内で新たに起業・創業しようとする方への支援の充実を図るとともに、時代潮流を的確に捉えながら産業育成に取り組めます。

人手不足や後継者不在など事業の承継に課題を抱えている事業者に対して、専門家による相談体制などの充実を図るとともに、従業員の資格取得などによる人材の育成と確保を支援します。

**(3) 経営基盤の安定・強化**

商工会議所と連携のもと、資金調達やワーク・ライフ・バランスの実現など中小事業者が持つ様々な課題に対応するため、経営に不可欠な資金の融資を円滑かつ低利で受けられるよう事業資金の融資や利子補給制度の充実を図ります。

また、中小事業者の生産性向上や負担の軽減を支援するため、国や千葉県の支援制度の利用促進や経営相談などにより経営基盤の安定・強化に努めます。

## 4-3

まちのにぎわいと活力を創出する  
拠点を整備する

## 1 拠点整備

## 現状と課題

本市がまちを開発していく「発展期」から、まちを維持・更新していく「成熟期」へと移行してきている中、都市の魅力や活力を今後も発揮していくためには、様々な都市機能が集積する拠点の充実が必要不可欠です。

都市拠点である東京メトロ東西線とJR京葉線の鉄道3駅周辺では、商業・業務・文化・交流・交通・生活支援などの様々な都市機能が集積しています。

浦安駅周辺地区については、狭あいな駅前広場やバス停留所の分散、公共空間の不足など、長年にわたり多くの課題を抱えています。そのため、「交通結節機能の強化」「商業の振興」「多様な都市機能の拡充」を基本に検討を進め、段階的な整備を図る必要があります。

新浦安駅周辺地区については、公共交通と一般車両の増加に伴う交通機能の低下や歩道部での歩行者と自転車の錯綜、自転車駐車場の不足など、様々な課題を抱えています。これらの課題に対応しつつ、都市拠点としてふさわしいにぎわいや魅力の創出を図っていく必要があります。

舞浜駅周辺地区については、ホテルなどの送迎バスや路線バス、一般乗用車が輻輳するなど交通機能の低下、日常生活機能の不足などの課題を抱えています。そのため、住民や来訪者が快適に利用できるよう、アーバンリゾートゾーンの玄関口及び地区住民の生活拠点としての機能の向上を図る必要があります。

都市拠点のほか、シビックセンター地区には、行政・文化・福祉の中心核としての機能が集積しています。市役所周辺のコア地区の整備は完了しつつあり、東野地区の福祉ゾーンでは今後も良質な福祉サービスを安定的かつ継続的に提供するため、地域の点在する関連機能などとの連携を図りながら拠点として必要となる機能の再編を図る必要があります。また、コア地区と福祉ゾーンとの連携を図り、シビックセンター地区全体としての拠点機能の強化を図る必要があります。

一方、日の出・明海・高洲地区の海岸沿いの海辺の交歓エリアでは、日の出・明海地区において、海岸の開放など、憩いの場としての整備が進みつつあります。また、高洲地区においては、健康や医療、福祉などの機能を有する様々な機関が集積していることから、更なるまちの活性化を図るため、機能の連携を図る必要があります。

今後も、水際線<sup>\*</sup>に位置する公園や市有地を活かし、魅力ある交流・レクリエーションの拠点として整備・充実を図る必要があります。

## 施策の展開内容

### (1) 都市拠点の整備・充実

浦安駅周辺地区については、本市の商業や経済の拠点として引き続き発展するとともに、利用者の快適性や交通の利便性が向上するよう、密集市街地<sup>\*</sup>の改善や交通結節点<sup>\*</sup>としての機能強化を図るため、バスロータリーの整備を視野に入れながら、市有地を活用したバス停留所の一時集約化や道路整備など段階的な整備を進めます。

新浦安駅周辺地区については、交通結節点<sup>\*</sup>としての利便性の向上を図るため、駅前広場の二層化を検討するとともに、駅北口のバスベイ<sup>\*</sup>の設置と歩行空間の拡幅など交通機能の拡充を図ります。また、活気のあるにぎわいを持続させ、より市民が親しめ、交流できる駅前空間となるよう駅周辺の商業事業者などとの連携や公共施設を活用し、にぎわいと魅力の創出を図っていきます。

舞浜駅周辺地区については、住民と来訪者、双方に配慮した交通結節機能の分担に取り組みます。駅北口においては、周辺地権者などと連携を図りながら、生活利便施設<sup>\*</sup>や千葉県と本市の魅力を発信する新たな場の整備に取り組みます。

### (2) シビックセンター地区の整備・充実

シビックセンターコア地区については、引き続き、行政・文化の拠点としての機能が持続的に発揮できるよう、既存施設の適正な維持管理及び計画的な補修・改修を推進します。

シビックセンター東野地区については、多様化する福祉ニーズへの対応や地域共生社会の実現に向け、東野地区の複合福祉施設の整備と総合福祉センターの再整備により、機能を再編するなど、子ども、障がいのある方、高齢者それぞれを対象とする福祉関連のセンター機能の高度化や効率化を図ります。

また、境川沿川の管理用通路や公園などの公共施設を活かした水辺空間の創出に取り組みます。

### (3) 海辺の交歓エリアの整備・充実

海辺の交歓エリアについては、水際線<sup>\*</sup>に位置するこれまで集積してきた多様な機能を活用しながら、人々が海とふれあい、交流を深めることができるエリアとして整備を推進します。

日の出・明海地区の海岸については、引き続き、千葉県と協議しながら開放を進めます。

境川河口部については、その形状を活かしながら、水上シアターなどのイベント空間や市民が水辺に親しめる環境の整備を進めるとともに、高洲海浜公園、総合公園と連続性を持たせた整備に取り組みます。